

《研究課題名》

転移性腎癌に対する転移巣摘除に関する検討

《研究対象者》

滋賀医科大学医学部附属病院泌尿器科で2008年1月1日～2023年6月30日に腎癌の転移巣の手術を行った症例を対象とします。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》 転移性腎癌に対する転移巣摘除に関する検討

《研究期間》 総研究期間：学長の許可日～西暦2028年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 泌尿器科学講座 吉田哲也

(2) 研究の意義、目的について

《意義》 免疫療法時代において腎癌患者における転移巣切除術がどの程度の恩恵を与えるかを検証することは意義があると考えられます。

《目的》 滋賀医科大学医学部附属病院での診療録を用いて、転移性腎癌に対して行われた転移巣切除術の術前評価、術後の治療効果に関して解析を行います。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》 本研究は滋賀医科大学医学部附属病院で腎癌の転移巣の手術を過去に行った方を対象に、その手術前後の経過やその結果などを評価します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》 診療録をもとに年齢、性別、腎摘手術に関する因子(手術時年齢、術式、病理組織診断)、再発転移までの期間、転移臓器、転移巣切除に関する因子(手術時年齢、術式、病理組織、術前IMDC分類、CRP値の情報)を利用します。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

オプトアウト

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者: 滋賀医科大学泌尿器科学講座 吉田哲也

住所: 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号: 077-548-2273

メールアドレス: hquro@belle.shiga-med.ac.jp